

俞陛云著

詩境淺說續編

目錄

五言絕句

寒夜思	王勃(一)	萍池	王維(六)	敬亭獨坐	李白(二)
其二	王勃(一)	鷓鴣塢	王維(六)	八陣圖	杜甫(二)
其三	王勃(一)	孟城坳	王維(六)	送朱大	孟浩然(三)
別人	王勃(一)	鹿柴	王維(七)	望終南殘雪	祖詠(三)
曲江花	盧照鄰(二)	南垞	王維(七)	銅雀臺	崔國輔(三)
易水	駱賓王(二)	樂家瀨	王維(七)	采蓮曲	崔國輔(三)
落隄曉行	上官儀(二)	辛夷塢	王維(八)	怨陶	崔國輔(三)
南行別弟	韋承慶(三)	竹里館	王維(八)	少年行	崔國輔(三)
送杜審言	宋之問(三)	山中送別	王維(八)	長干曲	崔顥(四)
子夜春歌	郭元振(三)	左掖梨花	王維(九)	其二	崔顥(四)
汾上驚秋	蘇頌(四)	相思子	王維(九)	其三	崔顥(四)
自君之出矣	張九齡(四)	雜詠	王維(九)	題僧房	王昌齡(五)
江上梅	王適(五)	宮槐陌	王適(五)	朝來曲	王昌齡(五)
王昭君	東方虬(五)	送崔九	裴迪(五)	詠史	高適(五)
南樓望	盧僊(五)	玉階怨	李白(六)	九日思長安故園	岑參(六)
烏鳴澗	王維(六)	夜思	李白(二)	登鶴雀樓	王之渙(六)

詩境淺說續編 目錄

江南曲	諸光幾(一七)	江南曲	李益(三)	淮陰行	劉禹錫(三)
別輞川	王縉(一七)	鷓鴣詞	李益(三)	秋風引	劉禹錫(三)
左掖梨花	邱爲(一七)	洛橋	李益(三)	玉臺體	權德輿(三)
奉寄彭城公	李華(一八)	塞下曲	盧綸(四)	古別離	孟郊(三)
雨中送客	崔曙(一八)	其二	盧綸(五)	遠別離	令狐楚(三)
項羽	于季子(一八)	其三	盧綸(五)	思君恩	令狐楚(三)
吳聲子夜歌	薛奇童(一九)	其四	盧綸(五)	從軍行	張籍(三)
宿永陽寄璨師	韋應物(一九)	婕妤怨	皇甫冉(六)	其二	張籍(三)
聞雁	韋應物(一九)	其二	皇甫冉(六)	閨人贈遠	王涯(三)
春草宮懷古	劉長卿(二〇)	金陵懷古	司空曙(六)	春閨思	張仲素(三)
彈琴	劉長卿(二〇)	送盧秦卿	司空曙(七)	南浦別	白居易(四)
送上人	劉長卿(二一)	漢宮曲	韓翃(七)	勤政樓西柳	白居易(四)
送靈澈	劉長卿(二一)	江行	柳中庸(七)	問劉十九	白居易(四)
平蕃曲	劉長卿(二二)	題三闋大夫廟	戴叔倫(六)	西還	白居易(五)
江行無題	錢起(二二)	關山月	戴叔倫(六)	玉樹後庭花	張祜(五)
其二	錢起(二二)	送人往金華	嚴維(六)	江南逢故人	張祜(五)
采蓮曲	劉方平(三)	題竹林寺	朱放(六)	春情	張起(五)
京兆眉	劉方平(三)	長沙驛	柳宗元(六)	小院	唐彥謙(七)
感懷	張繼(三)	江雪	柳宗元(六)	題水西寺	杜牧(七)
憶舊游	顧況(三)	罷和州游建康	劉禹錫(三)	寄遠	杜牧(七)

江樓	杜牧(六)	秋日	耿湓(四)	偕夫游秦	王韞秀(四)
登樂遊原	李商隱(三)	聽箏	李端(四)	沙上鷺	張文姬(四)
滯雨	李商隱(元)	送王司直	皇甫曾(四)	溪口雲	張文姬(五)
散關遇雪	李商隱(元)	淮口寄趙員外	皇甫曾(四)	囉唖曲	劉采春(五)
碧澗驛曉思	溫庭筠(元)	春怨	金昌緒(四)	哥舒翰	西鄙人(四)
夕陽	陸龜蒙(四)	塞下曲	許渾(四)	答人	太上隱者(四)
樂府	皮日休(四)	題慈恩寺塔	荊叔(四)	題玉溪	湘驛女子(七)
效崔國輔體	韓偓(四)	湘竹詞	施肩吾(四)		

七言絕句

送梁六	張說(四)	橫江詞	李白(五)	長信秋詞	王昌齡(七)
邊詞	張敬忠(四)	下江陵	李白(五)	西宮春怨	王昌齡(七)
春日思歸	王翰(四)	與賈舍人至汎洞庭	李白(五)	西宮秋怨	王昌齡(七)
涼州詞	王翰(四)	望天門山	李白(五)	從軍行	王昌齡(六)
結襪子	李白(五)	陌上贈美人	李白(五)	其二	王昌齡(六)
長門怨	李白(五)	聞怨	王昌齡(五)	其三	王昌齡(五)
越中懷古	李白(五)	聽流水調子	王昌齡(五)	其四	王昌齡(五)
送孟浩然之廣陵	李白(五)	梁苑	王昌齡(五)	殿前曲	王昌齡(五)
春夜雜陽間笛	李白(五)	芙蓉樓送辛漸	王昌齡(六)	青樓曲	王昌齡(六)
蛾眉山月歌	李白(五)	送別魏二	王昌齡(六)	其二	王昌齡(六)

詩境淺說續編 目錄

四

九月九日憶山東兄弟	王維 (六一)	春行寄興	李華 (七)	古豔詞	盧綸 (九)
涼州詞	王之渙 (六一)	欽乃曲	元結 (七)	宮中樂	盧綸 (九)
江上獨步尋花	杜甫 (三)	登樓寄王卿	韋應物 (七)	曲江春望	盧綸 (九)
其二	杜甫 (三)	休日訪人不遇	韋應物 (七)	峽口送友	司空曙 (八)
和嚴鄭公軍城早秋	杜甫 (三)	登寶意上方	韋應物 (七)	柏林寺南望	耶士元 (八)
解悶	杜甫 (三)	送劉登之道州謁崔大夫劉長卿	劉長卿 (七)	征人怨	柳中庸 (八)
戲爲絕句	杜甫 (三)	送李判官之潤州行營	劉長卿 (七)	送別	冷朝陽 (八)
江南逢李龜年	杜甫 (六)	歸雁	錢起 (七)	楓橋夜泊	張繼 (八)
三日尋李九莊	常建 (六)	王舍人竹樓	李嘉祐 (七)	春怨	劉方平 (八)
除夜	高適 (六)	題慶上人壁	李嘉祐 (七)	宮詞	顧況 (八)
送劉判官赴碛西行軍	岑參 (六)	送齊山人	韓翃 (七)	湘南卽事	戴叔倫 (八)
碛中作	岑參 (六)	寒食	韓翃 (七)	題開聖寺	李涉 (八)
赴北庭度隴思家	岑參 (六)	江南曲	韓翃 (七)	宿武關	李涉 (八)
山房春事	岑參 (六)	贈李翼	韓翃 (七)	過華清宮	李約 (八)
封大夫破播仙凱歌	岑參 (六)	送魏十六	皇甫冉 (六)	春興	武元衡 (八)
送李侍郎赴常州	賈至 (六)	嚴嶺西望	皇甫冉 (六)	聽歌	武元衡 (八)
過融上人蘭若	綦母潛 (六)	夜上受降城聞笛	李益 (七)	湘中酬張功曹	韓愈 (八)
山中留客	張旭 (六)	邊思	李益 (七)	和李司勳連昌宮	韓愈 (八)
軍城早秋	嚴武 (六)	寫情	李益 (七)	晚次宣溪酬張使君	韓愈 (八)
怨歌	薛維翰 (六)	耐曉角	李益 (六)	桃林夜賀晉公	韓愈 (八)

騷賈侍御	柳宗元 (八七)	同李十一醉憶元九	白居易 (九)	其二	張仲素 (一〇三)
石頭城	劉禹錫 (八七)	竹枝	白居易 (九五)	其三	張仲素 (一〇三)
烏衣巷	劉禹錫 (八八)	宮詞	白居易 (九五)	秋閨思	張仲素 (一〇三)
與歌者米嘉榮	劉禹錫 (八八)	暮江吟	白居易 (九六)	其二	張仲素 (一〇三)
與歌者何戡	劉禹錫 (八九)	伊州	白居易 (九六)	漢苑行	張仲素 (一〇三)
聽舊宮人穆氏唱歌	劉禹錫 (八九)	魏王陵	白居易 (九七)	蠻州	張籍 (一〇四)
踏歌詞	劉禹錫 (八九)	香山寺	白居易 (九七)	悼孟寂	張籍 (一〇四)
其二	劉禹錫 (八九)	永豐坊園中垂柳	白居易 (九七)	法雄寺東樓	張籍 (一〇五)
隄上行	劉禹錫 (九〇)	重贈樂天	元稹 (九八)	秋思	張籍 (一〇五)
竹枝詞	劉禹錫 (九〇)	西歸	元稹 (九八)	涼州詞	張籍 (一〇六)
其二	劉禹錫 (九一)	長安秋夜	李德裕 (九八)	宮詞	張籍 (一〇六)
其三	劉禹錫 (九一)	送僧	熊孺登 (九八)	其二	張籍 (一〇六)
其四	劉禹錫 (九一)	南園	李賀 (九八)	江陵使至汝州	張籍 (一〇七)
其五	劉禹錫 (九二)	酬答	李賀 (一〇〇)	華清宮	王建 (一〇七)
其六	劉禹錫 (九三)	劉郎浦	呂溫 (一〇〇)	十五夜望月	王建 (一〇七)
楊柳枝詞	劉禹錫 (九三)	贈崔駙馬	楊巨源 (一〇〇)	宮詞	王建 (一〇八)
春詞	劉禹錫 (九三)	秋夜曲	王涯 (一〇一)	其二	王建 (一〇八)
和令狐相公別牡丹	劉禹錫 (九三)	宮詞	王涯 (一〇一)	奉誠園聞笛	竇牟 (一〇九)
穆家別湖上亭	戎昱 (九四)	少年行	令狐楚 (一〇二)	陪留守內巡至上陽宮	竇庠 (一〇九)
題嘉照寺	王播 (九四)	塞下曲	張仲素 (一〇二)	襄陽寒食寄友	竇羣 (一〇九)

詩境淺說續編 目錄

六

宮人斜	寶釐 (二〇)	湘君祠	陳羽 (二八)	郡樓有宴病不起	杜牧 (二五)
渡桑乾	賈島 (二〇)	過勤政樓	杜牧 (二八)	邊上聞笳	杜牧 (二六)
贈天竺僧隱二寺主	權德輿 (二二)	過華清宮	杜牧 (二八)	金谷園	杜牧 (二六)
雜興	權德輿 (二二)	登樂遊原	杜牧 (二九)	暮春澹水送別	韓琬 (二六)
折楊柳	張祜 (二二)	沈下賢	杜牧 (二九)	戲贈李主簿	施肩吾 (三七)
集靈臺	張祜 (二三)	將赴吳興登樂遊原	杜牧 (三〇)	和孫明府懷舊山	雍陶 (三七)
雨淋鈴	張祜 (二三)	江南春	杜牧 (三〇)	城西訪友人別墅	雍陶 (三七)
游淮南	張祜 (二三)	題城樓	杜牧 (三一)	天津橋春望	雍陶 (三七)
曲江春望	唐彥謙 (二三)	初冬夜飲	杜牧 (三一)	華山題王母廟	李商隱 (三八)
長門怨	裴交泰 (二三)	醉後題僧院	杜牧 (三一)	北齊	李商隱 (三八)
郡中	羊士諤 (二四)	赤壁	杜牧 (三一)	夜雨寄北	李商隱 (三九)
泛舟後溪	羊士諤 (二四)	泊秦淮	杜牧 (三一)	寄令狐郎中	李商隱 (三九)
宮中詞	朱慶餘 (二五)	題桃花夫人廟	杜牧 (三三)	漢宮詞	李商隱 (三九)
題潘師房	劉商 (二五)	寄揚州韓判官	杜牧 (三三)	柳	李商隱 (四〇)
寄友	李羣玉 (二五)	南陵道中	杜牧 (三三)	爲有	李商隱 (四〇)
黃陵廟	李羣玉 (二六)	遺懷	杜牧 (三四)	飲席代官妓贈兩從事	李商隱 (四〇)
題王侍御宅	李羣玉 (二六)	山行	杜牧 (三四)	詠史	李商隱 (四一)
贈歌人郭婉	殷璠 (二六)	懷吳中馮秀才	杜牧 (三四)	漢宮	李商隱 (四一)
贈楊鍊師	鮑溶 (二七)	七夕	杜牧 (三五)	江東	李商隱 (四一)
聞玉蕊院真人降	嚴休復 (二七)	華清宮	杜牧 (三五)	宮詞	李商隱 (四一)

望遠	李商隱 (三)	謝亭送別	許渾 (二六)	席上贈歌者	鄭谷 (二四四)
板橋曉別	李商隱 (三三)	送宋處士歸山	許渾 (二九)	金陵晚望	高蟾 (二四四)
過楚宮	李商隱 (三三)	紫藤	許渾 (二九)	宮怨	司馬札 (四四)
嫦娥	李商隱 (三三)	烏棲曲	趙嘏 (二九)	華清宮二首	崔旼 (四五)
憶住一師	李商隱 (三四)	經汾陽舊宅	趙嘏 (二九)	折楊柳	王貞白 (四六)
寄蜀客	李商隱 (三四)	西江晚泊	趙嘏 (四〇)	小樓	儲嗣宗 (四六)
賈生	李商隱 (三四)	江樓感舊	趙嘏 (四〇)	放鷓鴣	羅鄴 (四六)
贈彈箏人	溫庭筠 (三五)	邊庭	盧弼 (四二)	秋怨	羅鄴 (四七)
琵琶怨	溫庭筠 (三五)	送友人游邊	馬戴 (四二)	花下	司空圖 (四七)
贈鄭徵君	溫庭筠 (三六)	折楊柳	薛能 (四二)	聞雨	韓偓 (四八)
題端正樹	溫庭筠 (三六)	席上贈琴客	崔珏 (四二)	已涼	韓偓 (四八)
經故翰林袁學士居	溫庭筠 (三六)	鄴宮詞	陸龜蒙 (四二)	寒食夜	韓偓 (四八)
河中紫極宮	溫庭筠 (三七)	懷宛陵舊游	陸龜蒙 (四二)	深院	韓偓 (四八)
題分水嶺	溫庭筠 (三七)	白蓮	陸龜蒙 (四三)	新上頭	韓偓 (四八)
鄂杜郊居	溫庭筠 (三七)	木蘭花	陸龜蒙 (四三)	長門怨	劉駕 (四九)
寄桐江隱者	許渾 (二六)	病酒	皮日休 (四三)	湘中謠	崔塗 (四九)
經秦皇墓	許渾 (二六)	淮上與友人別	鄭谷 (四四)		

詩境淺說續編

階青俞陛雲著

五言絕句

寒夜思

王勃

久別侵懷抱。他鄉變容色。月夜調鳴琴。相思此何極。

其二

雲間征思斷。月下歸愁切。鴻雁西南飛。如何故人別。

其三

朝朝碧山下。夜夜清江曲。復此遙相思。清尊湛芳醑。

三首同一思友思鄉之意。而分詠爲三者。其第一首。獨坐有思。撫琴而思同調也。第二首。望遠有思。聞雁而思故侶也。第三首。總結上意。言花朝月夜。山碧江清。無時無地不思也。一唱三歎。極寫其寒夜之懷。結句。借酒消愁。兼有樽酒重逢之望。作者去晉魏未遠。故短章有淳樸之氣。自是初唐風格。

別人

霜華淨天末。霧色籠江際。客子常畏人。胡爲久留滯。

客子畏人句。一語鎖紙。卻曲迷陽。憂心悄悄。能曲狀孤客自危之意。作者固閱世之談。亦對於所別之人。有爲而發。故勸其早歸也。

曲江花

盧照鄰

浮香繞曲岸。圓影覆華池。常恐秋風早。飄零君不知。

借落花以書感。詩人所恆有。此獨詠曲江花者。以曲江地鄰禁苑。爲冠蓋蒼翠之地。當有朝貴。戀青紫功名。不知早退者。此詩特諷喻之。勿待素秋肅殺。而始歎飄零。明哲保身之義。非泛詠落花也。

易水

駱賓王

此地別燕丹。壯士髮衝冠。昔時人已沒。今日水猶寒。

易水送荆卿歌。風蕭蕭兮易水寒。壯士一去兮不復還。寥寥十五字。而千載下如聞悲壯之聲。詠易水者。當不能外此意。此詩一氣揮灑。而重在水猶寒三字。一見人雖沒。而英風壯采。凜烈如生。一見易水寒聲。至今日猶聞嗚咽。懷古蒼涼。勁氣直達。高格也。

洛隄曉行

上官儀

脉脉廣川流。驅馬歷長洲。鵲飛山月曙。蟬噪野風秋。

此早朝途中所作。鵲飛蟬噪二句。寫洛隄曉行風景如畫。詩句復清遠而有神韻。昔張文潛舉昌黎柳州五言佳句。以韓之清雨捲歸旂一聯。柳之門掩候蟲秋一聯。爲壓卷。上官之作。可方美韓柳矣。

南行別弟

韋承慶

萬里人南去。三春雁北飛。未知何歲月。得與爾同歸。

孤客遠行。難平爲別。所別者況爲同氣。此作不事研鍊。清空如話。彌見天真。唐十齡女子詩。所嗟人與雁。不作一行飛。皆藹然至性之言也。

送杜審言

宋之問

臥病人事絕。嗟君萬里行。河橋不相送。江樹遠含情。

病中不能送客。無以表意。而託諸江樹。正見其情之無極。王阮亭又選其途中寒食云。馬上逢寒食。途中屬暮春。可憐江浦望。不見洛橋人。語意質實。不若此詩之意婉。宋在昆季中。最擅詩歌。明月夜珠之句。傳唱宮廷。初唐之能手也。

子夜春歌

郭元振

青樓含日光。綠池起風色。贈子同心花。殷勤此何極。

子夜歌。亦樂府之遺。幽情古豔。卽物興懷。在五言詩中。別有神味。此歌以同心花三字爲主。兩情兼寫。第四句。重言以申之。表長毋相忘之意。歌凡二首。其次首云。妾心正斷絕。君懷那得知。乃怨歌之亞也。

汾上驚秋

蘇頌

北風吹白雲。萬里渡河汾。心緒逢搖落。秋聲不可聞。

一年容易。又聽秋風。便有一種蕭寥之感。生宋玉之悲。作歐陽之賦。良有以也。劉禹錫秋風引云。秋風入庭樹。孤客最先聞。蓋客裏秋聲。尤易觸。故此詩言心緒搖落。秋聲更不可聞也。起二句。筆殊挺健。

自君之出矣

張九齡

自君之出矣。不復理殘機。思君如滿月。夜夜減清輝。

曲江乃唐時賢相。元宗若用其言。安有漁陽之變。此詩殆爲李林甫所譏。罷相後而作。借閨怨以寓忠愛之思。已過三五良宵。此後清輝夜夜。有缺無盈。見明更遇合。更無餘望。較衣帶日以緩。思君令

人老等句。語婉而意尤悲。追元宗遣官祠祭。已悔莫追矣。

江上梅

王適

忽見寒梅樹。花開漢水濱。不知春色早。疑是弄珠人。

詠梅之事夥矣。而獨言弄珠人者。以地當漢水。遂憶及弄珠解珮之仙。猶之見羅浮梅而懷萼綠。見孤山梅而憶逋翁。本地風光。隨手拾取也。

王昭君

東方虬

掩涕辭丹鳳。銜悲向白龍。單于浪驚喜。無復舊時容。

起筆以流水句法作對語。白龍丹鳳。屬對殊工。後二句言風沙絕域。已失舊容。而單于見之。猶爲驚喜。則昭君之絕艷可知矣。

南樓望

盧僎

去國三巴遠。登樓萬里春。傷心江上客。不似故鄉人。

人當客途。況瘁已切。鄉思及登樓四望。雲山新異。更驚身在他鄉。故作者爲之詠歎。猶之太白登高樓而吟。暝色春愁。少陵坐江樓而賦。楓林秋興。所謂斷腸烟柳。莫倚危闌也。

鳥鳴澗

王維

人閑桂花落。夜靜春山空。月出驚山鳥。時鳴春澗中。

山空月明。宿鳥誤爲曙光。時有鳴聲。出烟樹間。山居靜夜。偶一聞之。右丞能在靜中領會。昔人謂鳥鳴山更幽。句靜中之動。彌見其靜。此詩亦然。

萍池

春池深且廣。會待輕舟同。靡靡綠萍合。垂楊掃復開。

池水不波。輕舟未動。水面綠萍。平鋪密合。偶爲風中楊柳。低拂而開。開而復合。深得臨水靜觀之趣。此恆有之景。惟右丞能道出之。

鷓鴣堰

乍向紅蓮沒。復出青蒲颺。獨立何離襪。銜魚古楂上。

甫入芙蓉影裏。旋出蒲藻叢中。善寫其鳬沒鸞舉之態。後二句言既入水得魚。乃在楂頭小立。鷓鴣之飛翔食息。於四句中盡之。善於體物矣。以上三首。皆雲溪雜題。

孟城坳

新家孟城口。古木餘衰柳。來者復爲誰。空悲昔人有。

孟城新宅。僅餘古柳。昔年居此者。重重陳迹。蕩焉無存。今雖暫爲己有。而人事變遷。片壤終歸來者。後之視今。猶今之視昔。彼王侯第宅。尙新主屢更。況儒生蓬華耶。摩詰誠能作達矣。

鹿柴

空山不見人。但聞人語響。返景入深林。復照青苔上。

前二句。已寫出山居之幽景。後二句言深林中苔翠陰陰。日光所不及。惟夕陽自林間斜射而入。照此苔痕。深碧淺紅。相映成采。此景無人道及。惟妙心得之。詩筆復能寫出。

南垞

輕舟南垞去。北垞渺難卽。隔浦望人家。遙遙不相識。

戶具畫船。家藏烟浦。江南風景。往往有之。此詩純詠水鄉。舟行南垞。見北垞之三五人家。掩映於波光林靄間。一水盈盈。可望而不可卽。寫水窗閑眺情景。如身在輕橈。容與中也。

藥家瀨

颯颯秋雨中。淺淺石溜瀉。跳波自相濺。白鷺驚復下。

秋雨與石溜相雜而下。驚起瀨邊栖鶯。迴翔少頃。旋復下集。惟臨水靜觀者。能寫出水禽之性也。

辛夷塢

木末芙蓉花。山中發紅萼。澗戶寂無人。紛紛開且落。

蘭生空谷。不以無人而不芳。東坡羅漢贊云。空山無人。水流花開。世稱妙悟。亦卽此時之意境。後二句之意。更有花開固孤秀自馨。花落亦無人悼惜。山林枯菀。悉付諸冥漠之鄉。洵超於象外矣。

竹里館

獨坐幽篁裏。彈琴復長嘯。深林人不知。明月來相照。

輞川集中。如孟城坳。荷池。藥家瀨。諸作。皆閑靜而有深湛之思。此詩言月下鳴琴。風篁成韻。雖亦一片靜境。而以渾成出之。坊本唐詩三百首。特錄此首者。殆以其質直易曉。便於初學也。

山中送別

山中相送罷。日暮掩柴扉。春艸明年綠。王孫歸不歸。

以山人送別。則所送者。當是馳騫功名之士。而非棲遲泉石之人。結句言歸不歸者。明知其迷陽忘返。故作疑問之辭也。莊子云。送君者自崖而返。而君自遠矣。此語殊有餘味。

左掖梨花

閑灑堦前艸。輕隨箔外風。黃鶯弄不足。銜入未央宮。

鳥銜花片。雖詩人偶詠及之。其實爲事理所希有。右丞殆借以爲喻。以梨花喻京朝官。倘推數無緣。則亦飄颻於階前簾外耳。一旦汲引有人。忽蒙前席之召。猶花被鶯銜。入未央宮裏。當是見同官中。過意外之榮。故借題寓意耳。否則虛構此景。果何謂耶。

相思子

紅豆生南國。春來發幾枝。願君多采擷。此物最相思。

折芳馨以遺所思。采芍藥以贈將離。自昔詩人騷客。每藉靈根佳卉。以寄芳悵宛轉之懷。況紅豆號相思子。故願君采擷。以增其別後感情。猶郭元振詩。以同心花見殷勤之意。近人有以把酒祝東風。種出雙紅豆圖。所謂願天下有情人。都成眷屬也。

雜詠

客自故鄉來。應知故鄉事。來日綺窗前。寒梅著花未。

故鄉久別。釣游之地。朋酒之歡。處處皆縈懷抱。而獨憶窗外梅花。論襟期固雅逸絕塵。論詩句復清